

天ヶ瀬ダム再開発トンネル減勢池部建設工事

(I期～III期)

北陸鋼産が天ヶ瀬ダム再開発トンネル
減勢池部建設工事において
日建連表彰土木賞を受賞しました。



日建連表彰
土木賞



「困難な条件下における国内初の超大断面トンネル型減勢工の建設」

プロジェクト概要

京都府宇治市にある天ヶ瀬ダムは1964年に築造された多目的ダムである。本工事は近年の降雨量の増加、人口増加による電力消費の増量、発電用貯留量の減少などにより能力不足が課題となっていた天ヶ瀬ダムの機能を改善・増強することが目的。放流能力を毎秒600m³増やすため、景観と環境に配慮して、全長617mのトンネル式放流設備を建設した。仕上がり内空が高さ約26m、幅23m（断面積約500m²）という日本最大級の水路トンネルを計画した。破碎帯の幅が当初の想定より約1.5倍あり、工事計画を見直す必要に迫られたものの、鉄筋コンクリート（RC）円柱支保工や型枠支保工を考案し、当初計画より約40%の工程短縮を実現した。

受賞理由

工程遅延が危惧されたが、これを挽回するために超大断面、急勾配かつ厚肉の覆工施工に対して種々の斬新な技術を採用し、当初計画に対して40%の大幅な覆工工程短縮を実現した。

本工事は、想定を上回る破碎帯に遭遇しつつも発注者と受注者が緊密に連携して諸課題への対応策を講じることで、国内初のトンネル型減勢工を築造し、早期の通水を実現した取組であり、日建連表彰土木賞に値するものと認められた。



シュート部②組立セントル



側壁用スライドフォーム

